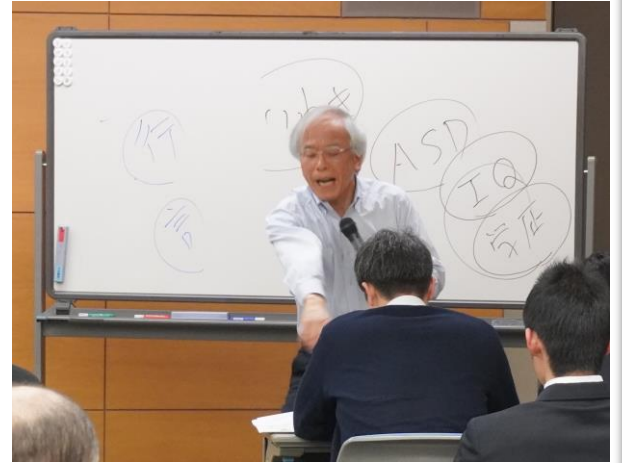


令和2年1月19日(日)福島県郡山市のビッグアイ 市民交流プラザ7F大会議室にて、東北支部A/B講座が開催されました。暖冬の影響で、会場から見える安達太良山・吾妻連峰は少し寂しげでしたが、会場には、84名と東北以外からも多く方にご参加いただき、春らしく華やかで盛大な会となりました。



特別講演1「小児を含めた発達障害」では、福島学院大学 副学長・福島学院大学大学院 心理学研究科長 教授 星野仁彦先生より、近年注目を浴びている発達障害についてお話いただきました。そもそも発達障害とはというところからご説明いただき、その個性や特徴から多面的に多角的に診断される必要があります、個に応じた治療や支援が必要であることを、強く認識することができたご講演でした。



発達障害における場面や状況の説明では「星野劇場」が開演し、ユーモアを交えながらも熱のこもった講演風景に何度も息を呑む場面がありました。講演が終わってからも、多くの参加者の方が質問に立ち並び、ご講演のインパクトの大きさと、発達障害への関心の高さが伺えました。



特別講演2・3「小児はり その1・その2」では、森ノ宮医療学園 専門学校 鍼灸学科 講師 鈴木 信先生より、長丁場にわたって小児鍼のご講演と実技披露をしていただきました。小児鍼のよいところは、「自分自身が癒される」とのお話で、デモ実演で小児鍼を受けた乳幼児のモデルさんはとてもニコニコと受けておりましたが、それにも増し鈴木信先生の笑顔は輝いて見えました。問診の説明の中で主訴に「元気」という項目がありました。小児鍼を受けることで「風邪をひかない」、「病気にかかりづらい」とのお話があり、陽気が多い赤ちゃんにこそ、未病に対し効果が発揮されると思いました。今回は株式会社カナケン様より「かっさボード」



セイリン株式会社様より「小児皮膚鍼」をご提供いただき、ご参加の方全員に配布しまして、鈴木信先生の小児鍼を体感していただきました。その柔らかなタッチに感嘆の声が上がり早速お互いに小児鍼の練習会が始まっていました。ご講演の中で米山榮先生のご紹介があり、「説明に時間をかけるのは内容を理解してもらうためではなく、こちらの熱意を感じてもらうため」とのお言葉はとても響きました。この言葉を引き継がれた鈴木信先生の臨床に対し誠実で熱い思いが伝わるご講演でした。

次回は2020年5月24日(日)岩手県盛岡市のアイーナ岩手県民情報交流センターにて、A/B講座を開催予定です。案内やホームページ (<http://tohoku.jsam.jp/>)にてお知らせいたします。